

こうすれば英語が聞ける

Ways to be better listeners

中 郷 安 浩

中 郷 慶

英 宝 社

はしがき

英語で自己表現をしなければならない場面がますます増えていますが、そもそも相手の言っている言葉が正しく聞き取れなければ、双方向の会話は成立しません。また、正しい発音をするためにも、聞き取る力が何よりも重要です。発音が上手になりたいと望む人は多いのですが、その前に、聞き取る力を養うことを忘れていることが多いように見受けられます。発音がうまくなるためには、聞き取る力が何よりも重要であるということは、いくら強調してもしすぎることはありません。

本書は、大学や短期大学における「リスニング」や「英語音声学」などの授業で使われることを念頭に置いて、学生のみなさんの聞き取り (listening) の力を高めることを目的として書かれました。テキストを通して「聞き取れてはじめて発音も上達する」ことを実感して欲しいと思います。

学習者はそれぞれ、さまざまな発音上の問題を抱えていますが、その中には日本人に広く共通する間違いや、思い込みも観察されます。例えば、[s] と [ʃ], [v] と [b] を正しく発音し分けたり、聞き分けたりすることは、多くの日本人が不得手とするところです。[v] は上の歯で下唇を噛むとか、[r] は舌を巻いて発音するなども、典型的な思い込みです。

本書は、著者のこれまでの経験に基づいて、日本人の発音と聞き取りの上での問題を考慮に入れた内容になっています。主な内容は、以下の通りです。

- ・ 日本語と英語の比較による、英語の発音の特徴。
- ・ 英語のリズムやイントネーションの特徴についての具体的な説明。
- ・ 日本人にとって、特に聞き分けにくい音を重点的に取り上げ、聞き取りのポイントとともに、発音の違いについても解説されていること。
- ・ 聞き取りに必要な、英語の音声に関する一般的な知識。
- ・ 音の同化、音の脱落などの練習問題。
- ・ リスニング力向上のための訓練方法や練習問題。
- ・ 易しいものから難しいものへ、短いものから長いものへと、グレーディング (grading) が施された練習問題。

英語を聞く力、正しく発音する力を伸ばすには、すぐに効き目の現れる特効薬的な訓練方法があると思っている人たちが多くいますが、外国語の上達には、そのような安易な方法はありません。聞く力、発音する力の上達には、あらゆる「音」に対する不断の意識 (awareness) とねばり強い実践 (practice) が必要となります。週一回の授業に出席さえしていれば何とかなるというものではありません。自動車学校で出席が皆勤であっても、それだけで免許が取れないのと同じことです。本書

が、学生の皆さんの、音への意識とリスニング力向上のための実践の足掛かりになることを願っております。

実践の方法として、著者の経験から、これまで最も有効であった自主トレーニング法を紹介しておきましょう。本書での理論と平行して、毎日15分から20分間、数10秒程度の英語の録音を、意味を理解しようと、意識を集中させながら、繰り返し聴き、書き取ります。6カ月もすれば、以前に比べて、聞き取る力は驚くほど前進しているはずです。さらにその訓練を続けると、一時それほどの進歩を感じない時期がありますが、この時期にあきらめずに続行することです。これは学習過程では必ず生ずる「停滞期」と呼ばれるものに過ぎず、その時点を過ぎると、再び聞き取りの能力が伸びていると実感する時が必ず訪れます。ぜひ実行されることをお勧めします。

本書の前半(Units 1-5)は主として中郷 慶が、後半(Units 6-12)は主として中郷安浩が担当しました。内容や表記方法については、二人で何度も話し合い、徹底的に討論して、最終的な統一を図りました。なお、本書では、アメリカ以外の固有名詞も含んでいますが、発音は標準アメリカ英語を基準としています。

本書の作成にあたって、貴重なご助言、ご指摘を下さいました伊達民和氏(プール学院大学教授)、近藤ゆうこ氏(青山学院大学非常勤講師)、懇切丁寧なネイティブ・チェックをいただきましたBeverley Curran氏(愛知淑徳大学助教授)に心からお礼申し上げます。また、企画当初から終始適切なご助言を下さいました、英宝社編集部宇治正夫氏には、ここに改めて感謝の意を表します。

2000年8月

中郷安浩

中郷 慶

目 次

はじめに	iii
Unit 1 英語のリズムとイントネーション —— 英語らしさとは何か ——	
1 単語レベルの違い:「高さ」の日本語と「強さ」の英語	3
2 ストレスとアクセントの違い	4
3 日英語のリズムの違いとイントネーション	5
Unit 2 リズムの担い手と強勢パターン	
1 内容語と機能語	7
2 複合語と句の強勢パターン	10
Unit 3 イントネーションと意味	
1 イントネーションの基本パターン	13
2 対比強勢とイントネーション	14
Unit 4 発音の仕組み	
1 声, 有声音・無声音, 母音・子音とは	16
2 母音の分類	17
3 子音の分類	21
4 本書で使用する発音記号と注意する点	22
音 節	22
[ɪ] と [i]	22
[p] と /p/ の違い	22
あいまい母音 [ə] と弱形, 強形	24
Unit 5 聞き取りのための訓練法	
1 シャドーウイング	26
2 ディクテーション	28
3 数字や地名の書き取り	28
Unit 6 いつまでたっても分からない・・・子音(1)	
1 /l/ と /r/	30
2 /v, b/ と「バ」行	32
3 /s, z, θ, ð/ と「サ」「ザ」行	34

Unit 7	違いは分かっているけれど・・・子音(2)	
1	/s/ と /ʃ/	37
2	/ʒ, dʒ/ と「ジ」	39
3	/z, dz/ と「ザ」「ズ」「ゼ」「ゾ」の子音	40
4	/tr, dr/ の摩擦化現象	42
Unit 8	長さの違い？音質の違い？母音(1)	
1	母音の長さ	44
2	長母音・二重母音と子音の挿入	45
Unit 9	母音は本当に「アイウエオ」？母音(2)	
1	/æ, a, ʌ/ と「ア」	47
2	/i, i:/ と「イ」「イー」	49
3	/u, u:/ と「ウ」「ウー」	50
4	/ɔ:, ou/ と「オー」	52
Unit 10	r を伴っているような・・・	
1	/ɑə, ɜ:/ と「アー」	55
2	よく似た響きの /r, w/	56
Unit 11	環境でこれだけ変わる音	
1	/p, t, k/ と氣息音	59
2	判別困難な末尾の /m, n, ŋ/	59
3	末尾閉鎖音 /p, t, k; b, d, g/	60
4	強母音と弱母音にはさまれた /t/	62
Unit 12	これがあるから聞き取れない	
1	同化	65
2	脱落	68

次の英語を書き取りなさい。英語発音と日本語的にイメージされたものが、どれほど違っているかを知るためです。

1. 国名・地名

- | | | |
|----------|-----------|-----------|
| 1. _____ | 6. _____ | 11. _____ |
| 2. _____ | 7. _____ | 12. _____ |
| 3. _____ | 8. _____ | 13. _____ |
| 4. _____ | 9. _____ | 14. _____ |
| 5. _____ | 10. _____ | 15. _____ |

2. 人 名

- | 姓 | 男性名 | 女性名 |
|----------|-----------|-----------|
| 1. _____ | 6. _____ | 11. _____ |
| 2. _____ | 7. _____ | 12. _____ |
| 3. _____ | 8. _____ | 13. _____ |
| 4. _____ | 9. _____ | 14. _____ |
| 5. _____ | 10. _____ | 15. _____ |

3. 商標、団体名等

- | | | |
|----------|-----------|-----------|
| 1. _____ | 6. _____ | 11. _____ |
| 2. _____ | 7. _____ | 12. _____ |
| 3. _____ | 8. _____ | 13. _____ |
| 4. _____ | 9. _____ | 14. _____ |
| 5. _____ | 10. _____ | 15. _____ |

4. カタカナ語

- | | | |
|----------|-----------|-----------|
| 1. _____ | 6. _____ | 11. _____ |
| 2. _____ | 7. _____ | 12. _____ |
| 3. _____ | 8. _____ | 13. _____ |
| 4. _____ | 9. _____ | 14. _____ |
| 5. _____ | 10. _____ | 15. _____ |

本書で使用する発音記号一覧¹⁾

語 例	母 音	語 例	子 音
Pete	i:	pan	p
pit	ɪ	ban	b
pet	e	tie	t
pat	æ	matter	ɾ
pot	ɑ	die	d
father	ɑ:	kick	k
dog	ɔ	go	g
caught	ɔ:	church	tʃ
pull	ʊ	judge	dʒ
pool	u:	fan	f
cut	ʌ	van	v
banana	ə	thick	θ
bate	eɪ	then	ð
bite	aɪ	sesame	s
about	aʊ	zone	z
boy	ɔɪ	ship	ʃ
boat	oʊ	leisure	ʒ
beer	ɪə	home	h
bear	ɛə	mouth	m
bar	ɑə	noon	n
pour	ɔə	sing	ŋ
poor	ʊə	light	l
bird	ɜ	right	r
butter	ə	you	j
cotton	ə ²⁾	wood	w

¹⁾ 本書は、アメリカ英語の発音を対象とし、発音記号には代表的なものを採用する。

²⁾ [ə] は脱落する場合もあることを示す。

こうすれば英語が聞ける

Ways to be better listeners

Unit 1 英語のリズムとイントネーション

— 英語らしさとは何か —

英語の音声の特徴は何でしょうか。日本語と英語はどのような違いがあるのでしょうか。日本語には日本語独自の、英語には英語独自の特徴があります。では、なぜ英語は英語らしく聞こえるのでしょうか。英語らしさが分かれば、リスニングも上達します。何が原因で英語らしく聞こえるのか、Unit 1 では基本的なことを学びます。

1 単語レベルの違い：「高さ」の日本語と「強さ」の英語

次の日本語と英語を聞き比べてみましょう。日本語も英語も、単語のある部分が「際だ^{きわ}って」いますが、どのような方法で際だっているのでしょうか。



listen and learn

日本語	リンゴ	サッカー	電子メール
英語	apple	soccer	e-mail

「サッカー」と“soccer”を比べてみると、日本語では「サッ」の部分が「カー」よりも「高く」なることによって際だっていて、英語では“soc”の部分が“cer”よりも「強い」ことによって区別化が図られていることが分かります。単語のある部分が他の部分よりも目立つことをアクセント (accent) があるといったり、卓立 (promi^{たくりつ}nence) があるといいますが、日本語と英語のアクセントの違いは、どのようにして際だたせるかの違いです。日本語では声の高さ (pitch) の変化によって卓立が生じていますし、英語では強さ (intensity) をもとに卓立が作り出されています。このため、日本語をピッチ・アクセント (高さアクセント) 言語、英語をストレス・アクセント (強さアクセント) 言語ということがあります。



練習 1 テープを聞き、どこにアクセントがあるか、アクセントがある位置に ' をつけなさい。

camouflage employee kilometer Macdonald hydrangea

練習 2 アクセントに気をつけて、次の英単語を発音しなさい。

success energy photograph comfortable image delicious

日本語（東京方言）では、同じ「アメ」という音を持つ「飴」と「雨」の2語を区別するのに、それぞれ「ア^メ」（飴）「ア^メ」（雨）のように「高さ」を用いますが、英語では *présent*（名詞：プレゼント）、*présent*（形容詞：出席している）、*présent*（動詞：贈りものをする）のように「強さ」を用います。

日本語は、地方によって高低パターンが変わることがあります。例えば、「橋」は関東では「ハ^シ」ですが、関西では「ハ^シ」となりますし、逆に、「箸」は関東では「ハ^シ」で関西では「ハ^シ」です。しかし、英語では、地方、方言によって単語ごとに決められた強弱パターンが変わることはありません。一番強く読まれる音節（p. 22 参照）を大文字で表すとすれば、*dictionary* という語は、英語のどの方言でも *DIC-tio-nar-y* であり、*dic-TION-a-ry*, *dic-tio-NAR-y* と読まれたときには、もはやそれは *dictionary* とは認識されません。

英語の発音にピッチ（高さ）が全く不必要なわけではありません。例えば、*international* という語では、アクセントは *in-ter-ná-tion-al* にありますが、実際には、言語音は「高さ」「強さ」「長さ」「音質（=音色）」の4つの特性から成っていて、*-ná-*の部分は他よりも「高く」「強く」「長く」「明りょうな」音となっています。しかし、日本語と英語のアクセントを比較する限りでは、聴覚的印象に基づいて「高さ」対「強さ」とするの、あながち間違いではありません。



練習 3 次の日本語の単語を読んだとき、どのような高低パターンになるかを考えなさい。（東京方言）

カメ	（亀）	カメ	（瓶）
カキ	（牡蠣）	カキ	（柿）
サトー	（佐藤）	サトー	（砂糖）
コーコー	（孝行）	コーコー	（高校）

練習 4 品詞の違いによって、どのような強弱パターンになるかを考えなさい。

import	（名詞）	import	（動詞）
record	（名詞）	record	（動詞）
object	（名詞）	object	（動詞）
content	（名詞）	content	（形容詞）

2 ストレスとアクセントの違い

前節で見たように、ある部分にアクセントがあるとは、その部分が他とは際だっている（卓立している）ことを意味します。英語では、ある部分を他よりも際だた

せるためにその部分を強くする、すなわちストレス（強勢）を置きます。例えば、subway には、sub- の部分に「ストレスを置くことによって」アクセントを付けます。それに対して、日本語では「ピッチ（高さ）を利用して」アクセントを付けます。英語では、ストレスのある部分とアクセントのある部分は必然的に同じになりますが、概念としては、ストレスとアクセントは違うものですので、混同しないようにしましょう。

3 日英語のリズムの違いとイントネーション

リズムやイントネーションはともに、英語らしい発音、日本語らしい発音に不可欠なものです。リズムとイントネーションの違いは、リズムが時間軸に沿って繰り返される規則的な形式を意味するのに対し、イントネーションとは、声の高さ（ピッチ）の変化によって繰り返される規則的な形式で、文の種類の区別（例えば、平叙文と疑問文）、話者の感情、対比・強調を表す場合に用いられます（Unit 3 参照）。ここでは、日本語と英語のリズムの違いについて考えてみましょう。

リズムは、ほぼ等しい間隔を置いた音の強弱、高低、長短などの反復によって生み出されます。日本語は各音節（またはモーラ）がほぼ等しい長さで繰り返し発せられる音節拍リズム (syllable-timed rhythm) で、英語は強勢を持つ音節と持たない音節が一つの単位となり、規則的にほぼ等しい時間間隔で現れる強勢拍リズム (stress-timed rhythm) となっています。



listen and learn

日本語と英語のリズムの違いに注意して、テープを聞きなさい。

日本語

むかしむかし、あるところに、おじいさんが住んでいました。

○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○

英語

Long long ago, there lived an old man in the woods.

○ ○ ○○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

次の5つの文が同じリズムで読まれていることを観察しなさい。

Bears eat honey.

The bears eat honey.

The bears will eat honey.

The bears will eat the honey.

The bears will have eaten the honey.

読むときのポイント

- ① 太字で書かれた部分にリズムの核が来るように読み、強勢が等間隔に現れるようにします。
- ② 一つ一つの単語を切らないようにします。
bears eat honey の部分は [béə-zít hání] のように、
will have eaten の部分は [wələvítən] のようになります。
bears will have eaten はさらに弱化が進み [béəzwlvítən] となります。
- ③ will や have, the など [wíl] [hæv] [ði:] などと強く読まず、[wəl] [(h)əv] [ðə] とできるだけ弱く、短く読みます。[ə] をあいまい母音、またはシュワー (schwa) と呼びます。強勢のない部分を弱く読むことは、英語らしい発音に非常に重要です (p. 24 参照)。
- ④ 指で机を叩いたり、手拍子を打ったりして、リズムをとりながら読んでみましょう。



練習 5 次の文も、リズムに気をつけて読みなさい。

Mother bakes bread.

Mother bakes the bread.

Mother can bake the bread.

My mother can bake the bread.

My mother could have baked the bread.

注 音節拍リズムのことを別名、連続のリズム (rhythm of succession), 機関銃リズム (machine-gun rhythm) ということがあります。また、強勢拍リズムは交替のリズム (rhythm of alternation), モールス信号リズム (Morse-code rhythm) とも呼ばれます。

Unit 2 リズムの担い手と強勢パターン

1 内容語と機能語

Unit 1 では、英語は強勢がほぼ等しい時間間隔で現れる強勢拍リズムの言語であることを見ました。では、文の中でどの語を強く読めばよいのでしょうか。次の文を聞いて観察してみましょう。



練習 6

テープを聞いて、次の a-c の文については、強く読まれている語に下線を引き、d については () 内に入る語を書きなさい。

- a. I met a man who came from London.
- b. We took the plane to go to Sydney.
- c. Mary ran into the room.
- d. I () go there () () () you want me to.

ある文の中でどのような語が強勢を受けるのでしょうか。このような質問を投げかけると、多くの英語学習者からは「大切、重要な語」「強調される語」という答えがよく返ってきます。この答えは、あながち間違いとはいえないのですが、その前に認識しておかなくてはならない概念があります。それが、品詞に基づいた内容語と機能語の区別です。これは英語のリズムを決定するうえで、非常に重要な区別です。内容語 (content word) は名詞や動詞など明確な意味内容を持つ語のことで、基本的に強勢を受ける資格を持ちます。機能語 (function word) は内容語ほど明確な意味内容を持たず、どちらかといえば文中で文法的な機能を担う冠詞や助動詞、前置詞などの比較的「軽い」語を指します。

内容語 …… 名詞、動詞、形容詞、副詞など

機能語 …… 冠詞、人称代名詞、助動詞、関係詞、前置詞、接続詞など

発話においては、当然ながら、意味情報の少ないものほど強勢の度合いも低く、逆に、意味情報の高いものほど強勢を受ける可能性が高くなります。「内容語＝強勢、機能語＝無強勢」という原理が成立するのはこのためです。再度、強勢を受けるものと受けないものを、次の表で確認しておきましょう。○が強勢を受ける部分、○

は強勢を受けない部分を示します。

listen and learn			
	品 詞	該当語 (例)	例文・句 斜字体が該当語
強 勢 を 受 け や す い 語	名 詞	dog, bag	Dogs bark. ○ ○
	動 詞	buy, bark	The man <i>bought</i> the bag. ○ ○ ○ ○ ○
	形容詞	beautiful, great	The flower is <i>beautiful</i> . ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	副 詞	quickly, very	He runs <i>very quickly</i> . ○ ○ ○ ○ ○ ○
	疑問詞	who, what	<i>What</i> does he like? ○ ○ ○ ○
	間投詞	Oh! Wow!	<i>Oh!</i> This is great! ○ ○ ○ ○
	指示詞	this (these), that (those)	
	助動詞の否定縮約形	can't, don't	I'm sorry, I <i>can't</i> eat any more. ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	文末の be 動詞, 助動詞および 前置詞	am, can, for	Yes, I <i>am</i> . ○ ○ ○ Yes, I <i>can</i> . ○ ○ ○ What are you looking <i>for</i> ? ○ ○ ○ ○ ○ ○

What are you looking for? における for は ○ ではなく ○ ですが、強形 [fɔə] で発音されます。

p. 8 と p. 9 の 2 つの表は、どのような語が強勢を受け、どのような語が強勢を受けないかを示すためのものです。したがって、例えば p. 9 の冠詞の項の例 It's a nice picture における 2 つの内容語 nice と picture は同じ○で示されていますが、この 2 つは全く同じ強さではなく、その相対的な強勢関係については p. 10 にあります。また、同じ語でも使われ方によって、強勢を受ける場合と受けない場合があるので注意が必要です。例えば、on は on the table と前置詞として使われると強勢を受けませんが、put **on** the light (明かりをつける) のように句動詞 (phrasal verb) として使われると強勢を受けます。このような例はほかにも、in the house/check **in** at the hotel などがあります。



listen and learn

	品 詞	該当語 (例)	例文・句 斜字体が該当語
強 勢 を 受 け に く い 語	冠 詞	a, the	It's <i>a</i> nice picture. ○ ○ ○ ○ ○
	人称代名詞	him, she	Sue gave it to <i>him</i> . ○ ○ ○ ○ ○
	助動詞	can, may, will	She <i>can</i> do the job. ○ ○ ○ ○ ○
	関係詞	which, that	the house <i>that</i> Jack built ○ ○ ○ ○ ○
	前置詞	of, in, with	a cup <i>of</i> coffee ○ ○ ○ ○ ○
	接続詞	and, or	bread <i>and</i> butter ○ ○ ○ ○ ○
	be 動詞	am, are	I <i>am</i> a great fan of the singer. ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○



練習 7

内容語と機能語に注意しながら、次の文でどの語を強く読み、どの語を弱く読むかを予測し、テープを聞いて確認しなさい。

1. Little Jack Horner

Sat in the corner,
Eating his Christmas pie;
He put in his thumb,
And pulled out a plum,
And said what a good boy am I!

(Mother Goose)

2. I slept that night in the room I used to have when I was a little boy, with the summer wind blowing in at the windows, bringing the smell of the ripe fields. I lay awake and watched the moonlight shining over the barn and the stacks and the pond, and the windmill making its old dark shadow against the blue sky.

(My Ántonia)

2 複合語と句の強勢パターン

ある表現が、複合語 (compound) であるのか、句 (phrase) であるのかの区別は重要です。例えば、blackboard (黒板) は black と board と 2 つの要素からできていますが、blackboard 全体で単一の語として機能するため複合語とよばれ、blackの方がboardよりも強く読まれ、〈強・弱〉のパターンとなっています。これをここでは、BLACKboard と表記することにします。一般に複合語は〈強・弱〉の強勢パターンを持っています。ゲルマン系言語の一般的な語強勢規則では、(接頭辞で始まる underSTAND や withOUT などの場合を除くと) 語の第 1 音節に強勢がきます。複合語が一般に〈強・弱〉の構造を持つのも、この語強勢規則を反映したものだといえます。一方、black board (黒い板) と句になった場合、意味的に中心である board の方が black よりも強く読まれ、〈弱・強〉のパターンとなります。Black と board の組み合わせの場合、複合語は blackboard と 1 語で綴られますが、複合語でも分かち書きされることがありますので、複合語であるかどうかはあくまでも意味的にひとまとまりのものとして扱われているかどうかによります。

複合語 …… 一般的に、〈強・弱〉の構造：BLACKboard (黒板)

句表現 …… 一般的に、〈弱・強〉の構造：black BOARD (黒い板)

同じ単語の組み合わせであっても、それが複合語であるのか、句であるのかによって強勢パターンも意味も次のように変わります。



listen and learn

形容詞+名詞

複合語

BLACKboard (黒板)
BLACKbird (ムクドリモドキ (科の鳥))
GENTLEman (紳士)
GREENhouse (温室)
GRANDfather (祖父)
LIGHThouse (灯台)
WHITE House (ホワイトハウス)

名詞句

black BOARD (黒い板)
black BIRD (黒い鳥)
gentle MAN (優しい男)
green HOUSE (緑の家)
grand FATHER (偉大な父)
light HOUSE (明るい家)
white HOUSE (白い家)

-ing+名詞

複合語

SMOKING car (喫煙車)
(< a car for smoking (動名詞))

名詞句

smoking CAR (煙っている車)
(< a car that is smoking (現在分詞))

DANCING girl (プロの踊り子)
 RACING car (競技用自動車)
 SLEEPING car (寝台車)
 TOURING company (旅行会社)

dancing GIRL (踊っている少女)
 racing CAR (競技中の自動車)
 sleeping BABY (寝ている赤ちゃん)
 touring COMPANY (旅行中の一団)

名詞+名詞

複合語

WOMAN doctor (婦人科医)
 (< a doctor for women)

名詞句

woman DOCTOR (女医)
 (< a female doctor)

このように句は「弱強」という強勢パターンをとりますが、このパターンは、英語の句構造一般にあてはまります。ここで英語の句をまとめて挙げると次のようになります。



listen and learn

形容詞+名詞	strong WIND	blue SKY	little BOY
副詞+形容詞	very GOOD	more SERIOUS	quite FUNNY
副詞+副詞	very QUICKLY	more CLEARLY	so FAR
動詞+副詞	look UP	take OFF	sit DOWN
動詞+目的語	study ENGLISH	buy MILK	have a BREAK
主語+動詞	John SCREAMED.	Mary SMOKES.	He SWAM.

英語の句の強勢パターンについては、いくつか注意が必要です。一つは形容詞+名詞、副詞+形容詞などの場合、strong WIND, very GOOD のように、内容語であっても、strong や very は WIND や GOOD に比べて弱くなるということです。このようになるのは、英語は強勢が連続して生起することを嫌う言語であるためです。もう一つ注意すべきことは、このような強勢パターンはあくまで一般的なものであり、文脈、強勢の衝突 (p. 15 参照) によって変わることがあるということです。例えば、SNOW is falling. や An OWL hooted. など主語から動詞の予測がつく場合には、主語に強勢が来ます。また、次のような例外もあります。

例外：

- 1) 最初の要素が材料・原料を表す場合、句型の強勢パターンとなります。

a plastic BAG paper TOWELS apple PIE
 chicken SANDWICHES vegetable SALAD

ただし、cake, juice, water があるものは、複合語型の強勢パターンとなります。

FRUIT cake TOMATO juice SODA water

- 2) 通りの名前を表す表現の場合、句型の強勢パターンとなります。

Cromwell ROAD Queen's AVENUE Oxford CIRCUS
Hans CRESCENT

ただし、street の場合は、複合語型の強勢パターンとなります。

BAKER Street

- 3) 両方のパターンを示すものもあります。

ICE cream (米) ice CREAM (英)
WEEKend (米) weekEND (英)



練習 8

特に、下線部の句や複合語の強勢パターンに気をつけながら、次の文を読みなさい。

An old lady kept asking the bus driver to tell her when they arrived at a certain small town. She asked so often that finally the driver got nervous and passed through the small town before he realized it. He apologized to the other passengers, turned around, and drove back. Then he said to the old lady: "This is the town where you wanted to get out."

"Who wants to get out?" she answered.

The driver said: "You did."

"No," she said, "my daughter told me that when I pass through this town, I should take my pills."

(Braude's Treasury of Wit and Humor)

Unit 3 イントネーションと意味

1 イントネーションの基本パターン

イントネーション（音調）の機能は、疑問文・平叙文を区別したり、話者の感情を表したり、対比・強調を表したりすることです。音調の相対的な高低は通常、4＝超高 (extra high), 3＝高 (high), 2＝中 (middle), 1＝低 (low) と分けられます。4の超高のレベルは特に強い感情を表す場合を除いて用いられず、一般の文は次の高低曲線のように3つのレベルで表示されます。



listen and learn

My dream is to study in England. 3
..... 2
..... 1

前提条件のない中立的な平叙文のイントネーションは、上のように、2-3-1 となります。日本人に特に多い誤りは、文頭を高くしてしまい、My name is Peter. I live in London. のように読んでしまうことです。これは英語の一般的なイントネーションパターンとは違いますので、間違わないようにしましょう。また、文の途中なのに、1のレベルまで下げないようにも気をつけます。

音調の型の決め手となるのは、高音 (=3) の位置です。文の中には内容語がいくつも現れますが、その内容語のどれもが同じ強さで読まれるわけではありません。つまり、内容語の強勢には卓立 (prominence) の差が生じます。通常、前提条件のない中立的な文で一番強く読まれる、つまり、第一文強勢が置かれる内容語は、文の最後に現れる内容語です。文中の他の内容語は、それより弱く、第2、第3文強勢が置かれます。

音調の種類には、主なものに次の4つがあります。



listen and learn

1. 下降調 平叙文、命令文、wh 疑問文、感嘆文

The student studies English.

What did you buy?

2. 上昇調 yes/no 疑問文、呼びかけの語句

Do you like American movies?

Mary, can you do me a favor?

このほか、下降調と上昇調を組み合わせたものもあります。

3. 下降上昇調 平叙文、依頼の意味を表す命令文

The baby may be sleepy, I think.

Be quiet, will you?

4. 上昇下降調 選択疑問文、3つ以上列举する平叙文

Would you like coffee or tea?

We can see in the room, Mary, Susan, and Kathy.

もちろんこれらのパターンも絶対的なものではなく、文脈によって変化することがあります。Would you like coffee or tea? が上昇下降調になるのは、「コーヒーにしますか、それとも紅茶にしますか」の文脈であって、その返答は、I would like to have some coffee (tea), please. となりますが、「何か飲み物はいかがですか」の文脈では、

Would you like to have some coffee or tea?

と上昇調となります。この問いかけに対しては、Yes (No), thank you. と返答することになります。また、付加疑問文についても、何を意図しているかによって、イントネーションも次のように変化します。

This is your textbook, isn't it? (「キミのものかい?」: 質問)

He is a student, isn't he? (「学生だよ」: 確認)

2 対比強勢とイントネーション

全く同じ文でも、聞き手と話し手にとって何が重要で新しい情報なのかによって、イントネーションが変わることがあります。同じ Could you drive me to the airport? という文でも、「彼女を連れていくのではなくて、私を車で連れて行って」という文脈では drive me, 「空港からではなくて、空港へ車で連れて行って」という文脈では to the airport などのように、通常は強勢の置かれることのない、me や

to などの機能語も対比強勢 (contrastive stress) が置かれ、該当する部分から上昇調となります。次の文で、文脈とイントネーションを確認しましょう。

Could you drive me to the airport tomorrow? (他の人ではなくあなたが)

Could you drive me to the airport tomorrow? (電車ではなく車で)

Could you drive me to the airport tomorrow? (彼女ではなく私を)

Could you drive me to the airport tomorrow? (空港からではなく空港へ)

Could you drive me to the airport tomorrow? (駅へではなく空港へ)

Could you drive me to the airport to tomorrow? (明後日ではなく明日)

練習 9

次の a から c の疑問文に対する答えとして、I took the new car. と返答する場合、どのようなイントネーションになるかを予測し、テープを聞き確認しなさい。

- | | |
|---|---------------------|
| a. Who took the new car? | I took the new car. |
| b. Did you take the new car or not? | I took the new car. |
| c. Did you take the old car or the new car? | I took the new car. |

語ごとに決められた強勢パターンも、対比する部分を強調するために、通常とは異なる強勢パターンを持つ場合があります。次の例で確認しましょう。

listen and learn

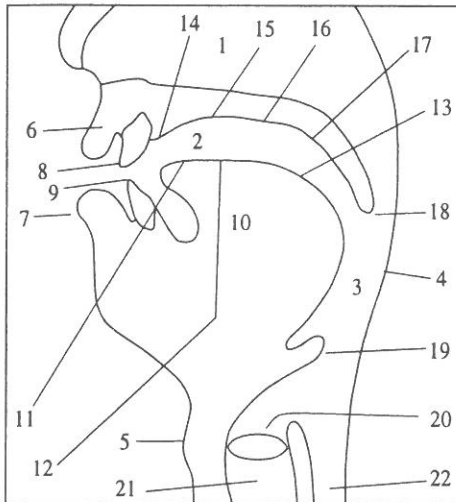
- | | |
|---|--|
| a. I'm studying J apanese, not C hinese. | |
| b. The Dragons beat the Giants f ourteen to t hirteen. | |
| c. He became an u nder w riter, not an u nder t aker. | u nderwriter 「保険業者」; u ndertaker 「葬儀屋」 |
| d. The one who brought me this was not a b us b oy, but a b us g irl. | b usboy 「(食堂の) 給仕の男性助手」 |

また、次の例は、対比強勢の例ではありませんが、強勢が現れるのをできるだけ等間隔にして、強勢の衝突を避けようとする原理によって、語または句の強勢パターンが変化するものです。

- | | |
|-----------------------|--|
| a. New Y ORK | N EW York C ITY |
| b. North S EA | N ORTH Sea O IL |
| c. Jap a NESE | JAP a nese C AR |
| d. seven T EEN | SE V enteen P EO P le |

Unit 4 発音の仕組み

言語音の出る仕組みについて考えていくことにしましょう。正しい発音を理解するには、言語音の種類と分類を知っておくことは大変有益なことです。言語音を作るためには、次の図の発音器官 (speech organ) を用います。さまざまな音の説明には、これらの器官名を用いて説明しますので、しっかりと覚えましょう。

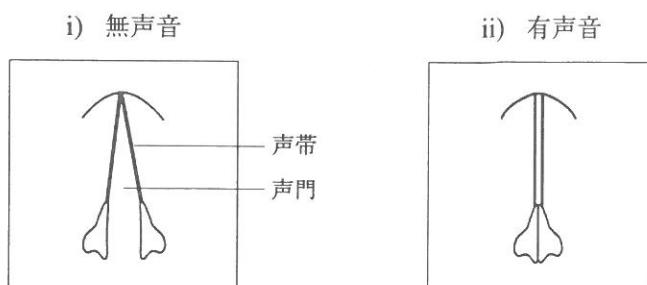


- | | |
|--------|-----------|
| 1. 鼻腔 | 12. 前舌面 |
| 2. 口腔 | 13. 後舌面 |
| 3. 咽頭 | 14. 歯茎 |
| 4. 咽頭壁 | 15. 硬口蓋歯茎 |
| 5. 喉頭 | 16. 硬口蓋 |
| 6. 上唇 | 17. 軟口蓋 |
| 7. 下唇 | 18. 口蓋垂 |
| 8. 上歯 | 19. 喉頭蓋 |
| 9. 下歯 | 20. 声帯 |
| 10. 舌 | 21. 気管 |
| 11. 舌尖 | 22. 食道 |

発音器官

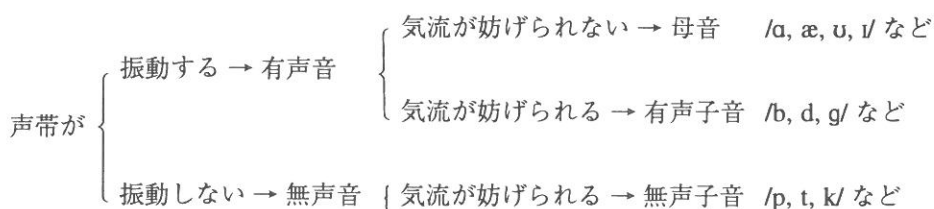
1 声、有声音・無声音、母音・子音とは

肺にためた空気が気管を経て、口や鼻へと流れ出ていくときに、喉頭 (larynx) を通過します。この部分には、声帯 (vocal cords) と呼ばれる一対の粘膜のひだがあり、空気がこのひだの間 (声門 [glottis]) を通過する際に、人間はこの部分を振動させることができます。これが発声と呼ばれる過程で、この振動により声 (voice) が作られます。すなわち、この声帯の振動の有無によって、言語音は有声音 (voiced sound) と無声音 (voiceless sound) の2種類に分けられます。咽頭では声が産出され、調整されますが、この段階では有声音と無声音の区別があるだけです。ただし、ささやき声 (whisper) は声帯の振動を伴いません。



さて、喉頭を通過した気流は、有声音と無声音に区別されますが、このままでは言語音とはなりません。言語音によるコミュニケーションを行うためには、気流が口腔や鼻腔などの声道を通過する段階で、舌や唇などの調音器官によって、それぞれの音に特有の音質が作られます。この過程を調音 (articulation) といいます。この調音の過程で、母音と子音の区別が生まれます。「母音とは何ですか」と聞くと必ず「アイウエオのことです」という答えが返ってきますが、これでは母音を正確に定義していることにはなりません。「アイウエオ」のほかにも、[æ] も [ʌ] も [ou] も母音だからです。これはちょうど、「女性とは何ですか」といわれて、その生物学的な特徴を述べずに、「フミコさんとヨシコさんとユカコさんのことです」と答えるのとおなじくらい不正確です。

母音とは、声帯の振動を伴って生じた有声音の呼気が、口が比較的開いた状態で舌や唇などによって阻害されずに比較的自由に流れていく場合に産出されます。母音は有声音です。それに対して、子音は口腔内のどこかで呼気の流れが妨げられます。子音には無声のものと有聲のもの両方がありますが、数としては有聲子音の方がたくさんあります。言語音を大まかに分類すると次のようになります。

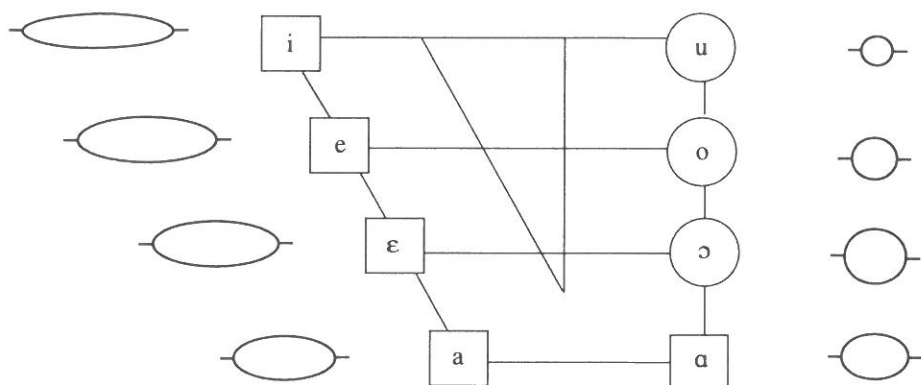


2 母音の分類

母音は口腔内のどこにも妨げられることなく発せられますので、その音質を変化させることができるのは、口腔の形だけです。母音の音質、つまり、口腔の形を決定するのは、主に舌と唇の形と位置を中心とする次の3つの要因です。

- 1) 舌がどのくらい高くなるか
- 2) 舌のどの部分が高くなるか
- 3) 唇が丸くなるかならないか

このうち、特に 1) と 2) の基準を用いて母音を分類したものが、第 1 次基本母音 (Primary Cardinal Vowels) として知られています。これはもとは Daniel Jones という音声学者が、母音を記述するための尺度として考案したもので、調音時の舌の盛り上がりの最高点の位置を相対的に示すことを基本とした分類です。母音の調音時に口腔内に舌の最高点がくると想像される位置関係を台形で表した、次のような図が用いられます。



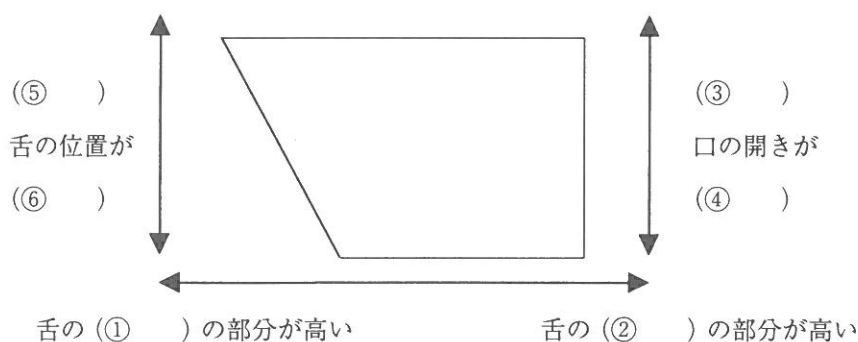
第 1 次基本母音と唇の形

(Collins and Mees 1981: 66)

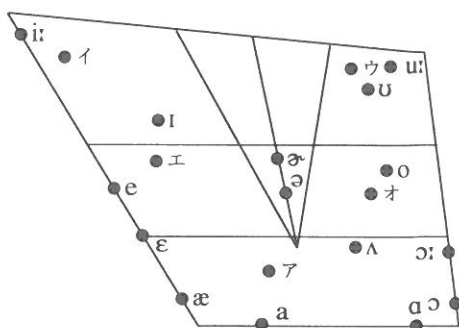
第 1 次基本母音の 8 つの母音のうち、i, e, ε, a, ɑ は□で囲まれ、ɔ, o, u は○で囲まれています。□は唇が横に開かれ平らな状態 (= 平唇) であることを示し、○は唇が丸めを伴った状態 (= 円唇) であることを示しています。また、それぞれの母音の発音記号の横の図は、それぞれの母音を発音するときの唇の形を図式化したものです。

練習 10

1. 第 1 次基本母音を表した図の左上の [i] を出発点として、[a] を経由して、[u] までの 8 つの母音を連続して発音しなさい。
2. 次の図の①から⑥には、どのような語を入れればよいでしょうか。



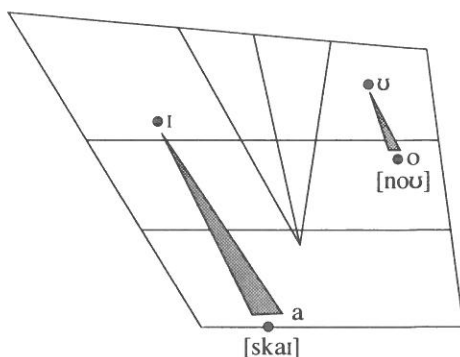
この第1次基本母音を表す母音四角形は、母音を発音する場合の舌の高さと位置を正しく反映したものではなく、あくまでも相対的に図式化したものですが、それぞれの母音が概略どのような関係にあるのかを理解するためには大変有効です。英語および日本語の母音を発音するときの、実際の舌の高さと位置は、次の図のようになっています。



英語と日本語の母音四角形

これらの母音四角形のうち、[ε]という記号は見慣れない記号かもしれませんが、[ε]はegg, petなどの音を表す記号です。これに対して、[e]はaid, nameなどの二重母音[eɪ]のはじめの音で、厳密には[ε]と[e]は異なる音ですが、本書では学習者の便宜を考え、egg, petなどについても、[ε]ではなく[e]を用いることにします。

二重母音もこの母音四角形で表されます。二重母音を含むsky [aɪ], know [oʊ]などは日本人にとって聞き取ることは、それほど難しい音ではありませんが、発音するとなるとなかなか難しい音です。しっかりとskyが「スカイ」ではなく「スカーイー」に、knowが「ノー」ではなく「ノーウ」となるよう、十分に気をつけましょう。これを母音四角形で図示すると次のようになります。



sky と know における二重母音 [aɪ] と [oʊ]

二重母音をうまく発音するコツは、二重母音の最初の母音に力を置き、長く発音し、あとの母音を軽く添えるようにすることです。例えば、「目」を意味する英語の“eye” [aɪ] と、それを日本語で発音したときの「アイ」では次に図示するような違いがあります。日本語の「アイ」は「ア」と「イ」の切れ目がはっきりしていますが、英語の [aɪ] にははっきりとした切れ目は観察できません。

日本語の「アイ」

ア	イ
---	---

英語の [aɪ]



日本語の「アイ」と英語の [aɪ] の切れ目の違い



練習 11

日本語との違いに注意しながら、二重母音を含む次の英単語を発音しなさい。

- | | |
|---------|---|
| a. [aɪ] | <p>チャイルド child [tʃáɪld]</p> <p>ガイド guide [gáɪd]</p> <p>ナイフ knife [náɪf]</p> <p>パイ pie [páɪ]</p> |
| b. [aʊ] | <p>ハウス house [háʊs]</p> <p>マウス mouse [máʊs]</p> <p>タウン town [táʊn]</p> <p>アウト out [áʊt]</p> |
| c. [ɔɪ] | <p>ボイル boil [bóɪl]</p> <p>ボーイ boy [bóɪ]</p> <p>オイル oil [óɪl]</p> <p>ボイス voice [vóɪs]</p> |
| d. [oʊ] | <p>ホテル hotel [houtél]</p> <p>オールド old [óʊld]</p> <p>ロード road [róʊd]</p> <p>オンリー only [óʊnli]</p> |
| e. [eɪ] | <p>ケーキ cake [kéɪk]</p> <p>オーストラリア Australia [ɔːstréɪliə]</p> <p>ラジオ radio [rédiʊ]</p> <p>ステーキ steak [stéɪk]</p> |